

巻頭言

01 学長:小原芳明

黒板からブラックボードへ

以前にも全人で取り上げたが、今デジタル移民船が「デジタル・ランド」へ向けて盛んに出航している。デジタル技術の普及が進み、近未来には携帯電話もさらに進化した「携帯ICT機」に取って代わられる勢いである。生活がどんどんデジタル化するなかで、学校教育がいつまでもデジタル・ヘジタントに佇んでいることはできない。

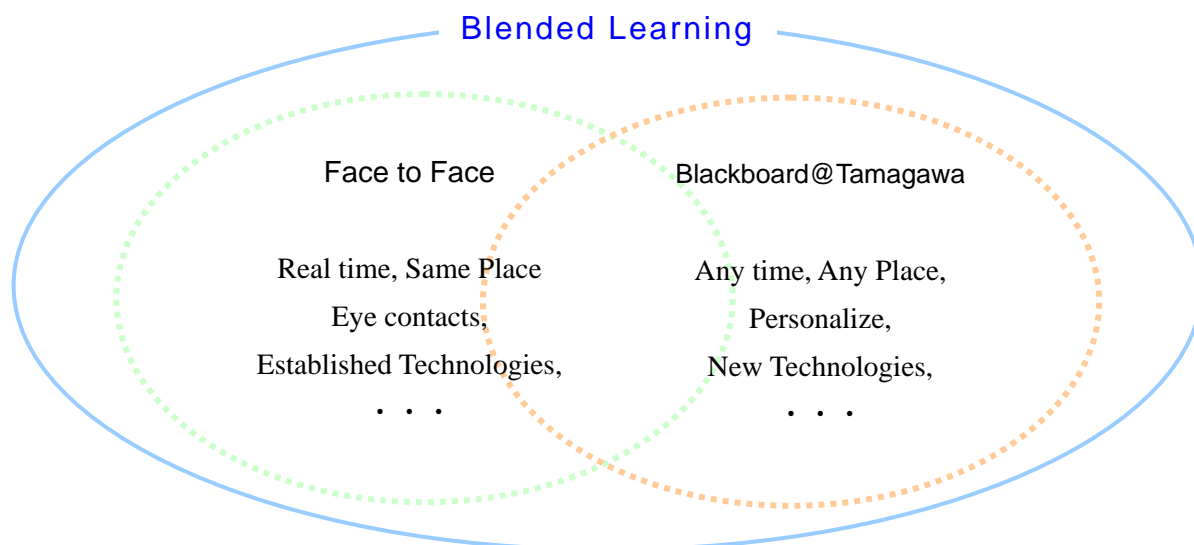
学校教育の基本は「Face to Face」であることには今も昔も変わらないが、黒板と白墨が発明され教育の進め方に変化が起こったように、ブラックボードを普及させることで教育の進め方に革新が起こるのではないかと期待している。実は、このソフトは大学だけではなく、小学校レベルから活用可能と聞いている。そうであれば、ブラックボードを普段

の教育活動に導入することで、黒板と白墨とで行っている教育に「厚み」を与えることはできないのか。デジタル技術は従来のアナログ技術を基盤にするので、教育活動に幾層



もの多様性を付する可能性を秘めている。それを導き出す (lead out する) ことも教育の一環だろうし、そうした試みを行うことが e-Education だと考えている。

玉川が e-Education の center (拠点) となることを目指して、デジタル移民船に乗船していきましょう。



Blackboard@Tamagawa

02

2004年度の結果

コース統計(活用状況とコース数)

1998年から取り組みを始めた玉川大学のeラーニングは、女子短期大学、経営学部での実践を経て、2004年4月から全学共通の授業支援システム「Blackboard@Tamagawa」の活用が始まりました。初年度の2004年度で開講された授業のうち約18%で利用されています(表1)。

学生にとっては、授業時間以外に「いつでも、どこからでも、繰り返し」教材を参照できるので、理解度向上に役立っており、また、自主性の涵養、基礎的IT知識の実践などの付加価値効果も期待できます。今後とも、さまざまな教育の場面で積極的にご利用ください。

表1:2004年度授業におけるBlackboard@Tamagawa活用状況

	Blackboard 活用数②	授業数①	活用率③
春学期	502	3039	16.5%
秋学期	562	2781	20.2%
春秋合計	1064	5820	18.3%

①授業数:正式に登録され、開講された授業数
 ②活用数:①の授業のうち、Blackboardを活用した授業
 ③活用率:授業のうちBlackboardを活用している割合
 (=②÷①×100)

学部	春学期授業			秋学期授業			授業外	
	授業数	受講者のべ数	教員数	授業数	受講者のべ数	教員数	春	秋
文学部	116	3663	40	108	3355	51	15	15
農学部	11	665	10	9	295	6	4	4
工学部	23	693	12	25	1031	15	1	9
経営学部	241	7502	66	240	5736	101	13	38
教育学部	28	1060	14	31	1073	11	3	9
芸術学部	20	701	12	15	389	12	9	6
大学院	4	12	3	4	9	3	0	0
コア科目	19	609	10	21	2570	15	0	0
総計	462*1	14905	134*2	453*1	14458	175*2	57	81

注1:教室での1授業単位で計算

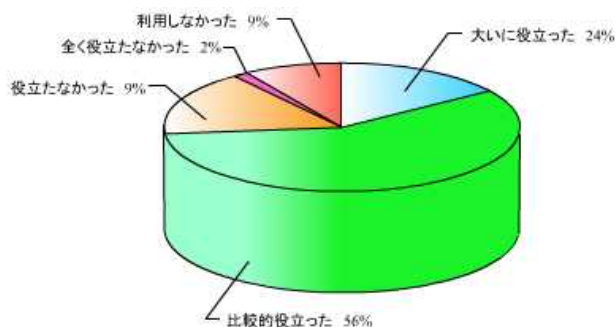
注2:教員数は該当学部で開講している教員数。総計は教員の実数

学生アンケートの結果から

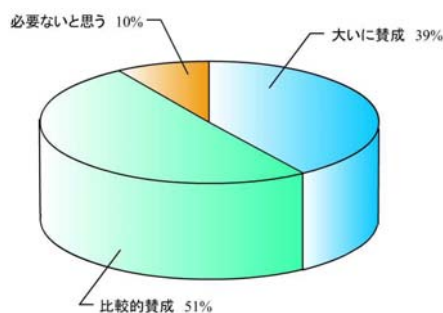
2004年度 春・秋学期末に実施した科目終了アンケートの回答から4項目を紹介いたします。

アンケート実施方法:春・秋学期ともにBlackboardのアンケート機能(匿名)により回答回収。
 回答数:4,213名。回収率:26%

1. 授業の理解に役立ちましたか



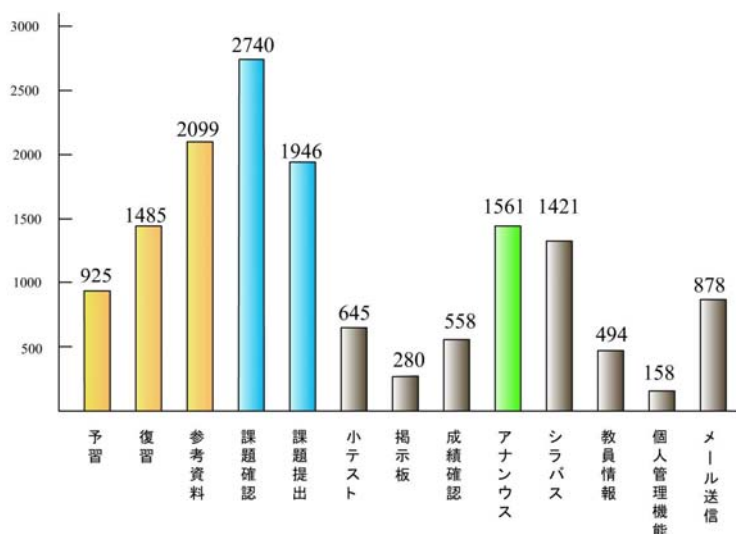
2. 活用することに賛成ですか



8割の学生が授業の理解に「大いに役立った」「比較的役立った」、9割がBlackboardの活用に「大いに賛成」「比較的賛成」と回答しており、確実に学習への効果が表れていることがわかります。

3. 役立った機能

このコースの Blackboard@Tamagawa でどのような機能が役に立ちましたか。該当するものすべてにチェックしてください。(複数回答可)



学生にとって役立った機能は「予習・復習・参考資料の閲覧」と「課題確認・課題提出」とに二分しています。授業の補完としてのコース活用がその結果に反映する結果でした。

意外なのは「アナウンス（教員からのお知らせ）が役立った」という声が多かったことでした。直接ではなくても先生からの声が学生にとって励みになっていることがうかがえます。

4. 自由記述回答から

- ・とても便利だった
- ・アナウンスの掲載がよかった
- ・参考資料が提示されるので勉強になった
- ・授業のフィードバックを掲示板で行い、毎回の授業を改めて考え直す機会が持てた
- ・予習・授業・復習それぞれうまく活用でき、非常に役立った
- ・授業内だけでなく、インターネットに接続できる環境であればどこでもチェックできる点がすごく便利に感じた



- ・インターネット環境にないので不便
- ・操作がわからなかった
- ・もっと積極的に Blackboard を活用してほしい
- ・テストの日程を載せてほしい
- ・新しくアップした時にはアナウンスに出してほしい
- ・新情報は自分の携帯にメールがくるようにしてほしい
- ・授業外の行事や課外活動の試合結果をのせて、Blackboard をつかう機会を増やしてほしい



第2回 学内 Blackboard カンファレンス

03

学内 Blackboard カンファレンスが、2005年1月31日（月）視聴覚センターにおいて開催されました。「2004年度 Blackboard@Tamagawa 稼働報告」（情報システムメディアセンター橋本順一）の後、次の活用事例の発表が行われました。

- ・月岡邦夫先生（工学部） 「1年次教育での活用事例」
- ・高千穂安長先生（経営学部） 「海外出張中の自学自習での活用事例」
- ・實川真理子先生（文学部） 「通常授業での補完的活用事例」
- ・吉田功先生（芸術学部） 「参考資料電子化と実技科目の事例」

当日は40余名の教職員が参加し、活発な意見交換が行われました。

今後も年2回、定期的で開催し、情報交換・議論の場にしていきたいと考えています。



MFL (Media Faculty Lounge) ご紹介

大学 e ラーニング推進の一環として、教員が静止画、動画、音声ファイル等のデジタル教材を作成・開発することを目的に、2002年3月に設置された施設です。WindowsPC と Macintosh を導入し、両環境に対応するソフトウェア、周辺機器を設備しています。



★ どこにあるの？いつでも使えるの？

【場所】視聴覚センター棟 205 (メディア教育推進室)

【利用時間】月～金 8:30-17:00 * 休日を除く

★ どんなことができるの？

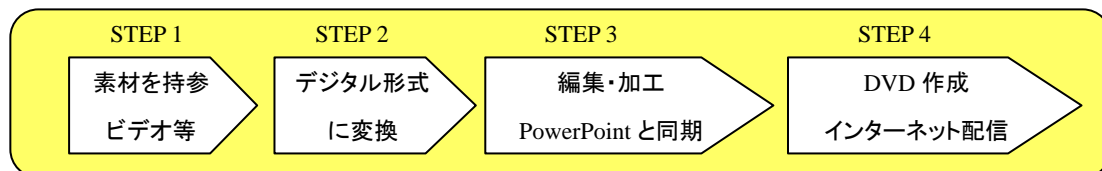
デジタル教材

◎撮影したビデオを編集し、インターネットで視聴させたい。

作成・加工

◎デジカメで撮影した画像を教材に使いたい。

例えば...



Blackboard

◎作成したデジタル教材をどのように構成すれば効果的か？

コース設計支援

◎課題やアンケートはどのように作成するのか？事例は？

他にも

◎PC 画面をキャプチャーし教材に使いたい。

こんなことが

◎ビデオのダビング、DVD への保存がしたい。

★ どんな機材、ソフトが使えるの？

主な機材	・デスクトップ PC、ノート PC * OS: WindowsXP HomeEdition、MacOS X/9 ・インクジェットカラープリンタ、スキャナ、各種デッキ(Hi8・VHS・DV・MD・HDD/DVD)など
主なソフトウェア	・画像(写真・動画)編集、描画、Web ページ作成・編集、CD・DVD 作成など ・Windows、Macintosh 両環境のソフトウェアがあります。

お気軽にお訪ねください。お待ちしております・・・

編集後記

Blackboard@Tamagawa の情報を身近にお届けするために e-Education NewsLetter を年 4 回発行することになりました。次号からはさまざまな活用事例の紹介を中心に”Blackboard Tips”を掲載していきます。

e-Education の最新情報は、右記のホームページでも随時掲載していきます。こちらもぜひご覧ください。

e-Education NewsLetter

2005 Vol.1

2005 年 3 月発行

玉川学園・玉川大学
情報システムメディアセンター

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : dlhelp@tamagawa.ac.jp

URL : <http://blog.tamagawa.ac.jp/e-education/>